

## 第10回東アジア地域ダム会議（EADC）ならびに 海外ダム現地見学会（ラオス）参加募集案内

東アジア地域ダム会議（EADC）は日中韓持ち回りで2004年から開催しており、2016年に日本（札幌市）で第9回を開催しましたが、本年第10回EADCが中国（鄭州市）で10月12日（金）～19日（金）の日程で開催されます。（日程はプレ、ポストツアーを含む）

日本大ダム会議では上記EADCの開催日程に合わせて、日本企業が参画している海外ダム事業の現地見学会を（一社）ダム工学会との共催で企画いたしました。見学会の団長は柳川城二日本大ダム会議 会長が務めます。

具体的には10月15日、16日のEADCシンポジウムに参加し、日中韓3カ国のダム技術に関する交流後、引き続きラオスのナムニアップ1発電所新設ならびにナムグム1発電所増設プロジェクトの見学調査を実施するもので、我が国の企業が海外進出しているビジネスの最前線を肌で知り得る絶好の機会かと考えますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催時期：2018年10月14日（日）～10月22日（月）  
（7泊9日、EADCのプレ、ポストツアー含まず）

2. 行 程：

日付	出 発		航空便		到 着		宿 泊	備 考
10/14 （日）	成 田 成田国際空港	10:55	中国東方航空 MU-272	⇒	中国・上海 上海浦東国際空港	13:25	中国・鄭州泊	鄭州
	中国・上海 上海浦東国際空港	16:55	中国東方航空 MU-9323	⇒	中国・鄭州 鄭州新鄭国際空港	19:00		
10/15 （月）～ 10/16 （火）	<b>第10回EADC参加</b> 10/14（日）登録 登録費：700(USD) 10/15（月）～10/16（火） オープニングセレモニー、テクニカルセッション 【参考】 10/12（金）～10/14（日） プレツアー 参加費：800(USD) 10/17（水）～10/19（金） ポストツアー参加費：750(USD)						宿泊費は参加登録費に含まれる(3泊)	
10/17 （水）	中国・鄭州 鄭州新鄭国際空港	12:00	上海航空 FM821	⇒	中国・上海 上海浦東国際空港	13:40	成田空港周辺泊	
	中国・上海 上海浦東国際空港	16:55	中国東方航空 MU-271	⇒	成 田 成田国際空港	20:55		
10/18 （木）	成 田 成田国際空港	10:50	全日空 NH-817	⇒	カンボジア・プノンペン プノンペン国際空港	15:10	ラオスピエンチャン泊	
	カンボジア・プノンペン プノンペン国際空港	17:50	ベトナム航空 VN-920	⇒	ラオス・ビエンチャン ワッタイ国際空港	19:10		
10/19 （金）	ラオスピエンチャン	8:00	陸 路		ナムニアップ 移動 3.5h + 休息 1h	12:30	サイト近傍泊 （関電関係施設）	3食付き
10/20 （土）	ナムニアップ	8:00	陸 路		ナムグム第一P/S ～ ラオスピエンチャン 移動 6h + 現地視察 4h + 休息 1h	19:00	ラオスピエンチャン泊	移動途上昼食
10/21 （日）	ラオス・ビエンチャン ワッタイ国際空港	18:40	ラオ航空 QV-445	⇒	タイ・バンコク スワンナブーム国際空港	19:40	（機中泊）	バンコクへ
	タイ・バンコク スワンナブーム国際空港	21:45	全日空 NH-850	⇒				羽田へ
10/22 （月）				⇒	羽 田 東京国際空港	(5:55)		

### 3. 開催内容

#### (1) 第10回東アジア地域ダム会議シンポジウム(EADC)

- ① 日 程：2018年10月14日（日）～17日（水）（移動日含む）
- ② 場 所：中国（鄭州市）
- ③ シンポジウムトピックス：
  - ・ダム事業の有意義な建設と管理
  - ・水中の調査と補強
  - ・揚水発電所の建設と運用
  - ・その他
- ④ 参加登録費（US\$700：10/14～17の宿泊料込）

#### (2) 海外ダム現地見学会（一社）ダム工学会共催

- ① 日 程：2018年10月18日（木）～22日（月）（移動日含む）
- ② 場 所：ラオス
  - ナムニアップ1発電所新設プロジェクト
  - ナムグム1発電所増設プロジェクト
- ③ プロジェクト概要

##### 【ナムニアップ1発電所】

関西電力（株）主体に進められてきた自主開発案件であり、2003年にプロジェクトに参画し2006年に独占開発権を取得している

場 所：ラオス ボリカムサイ県ボリカン郡ナムニアップ川

形 式：ダム式

売電先：EGAT（タイ電力公社）95%、EDL（ラオス電力公社）5%

売電契約期間：27年間

事業形態：売電期間後、施設の無償譲渡（BOTスキーム）

運転開始：2019年1月（予定）

発電所基本諸元：

流域面積		3,700 km <sup>2</sup>
湛水面積		67 km <sup>2</sup>
総貯水容量		2,200 百万m <sup>3</sup>
主ダム	形式(GR)高さ・堤長	167 m・530 m
主発電所	出力	272.8 MW
	有効落差	131 m
	年間発生電力量	14.47 億kwh
副発電所	出力	17.6 MW
	有効落差	12.7 m
	年間発生電力量	1.05 億kwh

【ナググム 1 発電所増設プロジェクト】

ラオスのビエンチャンを中心とする首都圏地域の電力供給は、ナムグム第一発電所（155MW）ナムルック発電所（60MW）およびナムマン第3発電所（40MW）によって行われているが、乾季の電力需要ピーク時にはタイからの電力輸入に依存している現状であることから、我が国に対してナググム第一発電所拡張事業の調査要請がなされ、JICAによって調査がなされた。本プロジェクトは総事業費 60 億円（このうち 55 億円の円借款）により 40MW の 6 号機を増設するものである。

既設ダム・貯水池の諸元：

項目	諸元
ダム形式	GR
堤高	75 m
堤頂長	468 m
堤体積	358 千m <sup>3</sup>
総貯水容量	7,030 百万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	4,700 百万m <sup>3</sup>
流域面積	8,460 km <sup>2</sup>
湛水面積	370 km <sup>2</sup>

6 号機発電所諸元：

	項目	諸元
建屋	型式	地上式コンクリート建屋
	高さ	42.1 m
	幅×高さ	B42.45 m×L25.74 m
水路	取水ゲート	ローラゲート、1 門
	取水口形式	ベルマウス式
	水圧鉄管路	5.5 m
発電	出力	40 MW
	最大流量	111.2 m <sup>3</sup> /s
	有効落差	40 m
	水車形式	立軸フランシス
	発電機	同期発電機

4. 募集定員：40 名
5. 参加費：330,000 円（(1)EADC、(2)海外ダム現地見学会の両方）  
140,000 円（(2)海外ダム現地見学会のみ）  
注：(1)EADC のみに参加する方は EADC 参加募集案内をご覧ください
6. 申込締切：9 月 18 日（火）（締切日までに定員に達した場合は、その時点で受付終了）
7. 申込先：一般社団法人日本大ダム会議 干場（ほしば）、小金沢  
TEL：03-5614-0968 / Email：secretariat@jcold.or.jp
8. 申込方法：参加希望者は申込フォーム（Excel）及び Registration form（Word）に必要事項を入力し Email にてお申し込みください。  
見学会のみに参加の方は Registration form への記載は不要です。  
申込フォーム及び Registration form は当会議 HP からダウンロードできます。  
<http://jcold.or.jp/j/activity/>